

# ぱーとなー

2005年 1月  
第38号

## 耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています  
安全 安心 信頼の医療  
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます  
無差別平等の医療  
私たちは人権を尊重した医療をすすめます  
患者負担の少ない医療  
私たちは室料差額はいたしません  
地域とともに歩む専門職の育成  
人権感覚をもつ専門職を養成します

## かかりやすい精神科をめざして！

耳原総合病院精神科は、こころや身体に障害をもたれた患者様が等しく文化的かつ社会的な生活を享受できるよう日夜努力し、「かかりやすい精神科」をめざし頑張っています。残念なことに当院は、精神科での入院は不可能ですが、入院がどうしても必要な場合には、本人の希望を第一に専門病院への入院をご紹介させていただいておりますのでご安心下さい。

昨今、精神科は様々な分野で注目をあびています。今回は、その中のうつ病と統合失調症について記述させていただきます。

### うつ病について

心身ともに疲れ果て、これ以上どうすることもできなくて途方にふてしまった状態をうつ状態と呼びます。うつ状態を中心の状態とする病気をうつ病と呼びます。うつ状態とはガソリンを使い果たして動かなくなってしまった自動車に例えられます。

うつ状態のときは心から体まで広い症状が出ます。心の症状では「気分の落ち込み」「悲観的な考え」「自分を責める気持ち」「やる気の出なさ」「興味がもてない」などの症状があります。体の症状では「食欲低下」「体重減少」「不眠



あるいは過眠」「動悸」「胸苦しさ」「全身倦怠感」などの症状があります。

うつ状態の治療は、人間にとってのガソリンを補充してあげること、つまり栄養と睡眠と休息を与えてあげることです。それが自力でできない場合は精神科での治療が必要になります。

ただうつ状態とよく似た紛らわしい病気があります。またうつ状態のときに身体の問題を合併することもよくあります。どうしても精神科の受診への敷居が高ければ、まず内科で身体的なチェックを受けてからでもよいでしょう。

### 統合失調症について

統合失調症の症状は個人差がありますが、多くは「幻聴」や「妄想」「興奮」などを中心の症状とし、長い目で見ると次第に「意欲の低下」「生き生きした感情が出ない」などの症状が進行していくことがあります。

多くは10代から30代にかけてはじめての症状が出ます。発症して間もない頃の治療は、薬による治療と刺激を避けての休息が中心となります。自宅で安全に休息がとれない場合には、精神科の入院施設のある病院へ入院が必要です。

最初の症状がおさまった後は、精神的なりハビリテーションが必要になります。精神科デイケアや作業所など多くの種類の資源があります。保健センターや通院している医療機関の精神保健福祉士に相談できます。

お気軽にご相談下さい。

////////// 耳原総合病院地域医療室 //////////  
////////// 電話 072-241-0324 //////////  
////////// Fax 072-241-0208 //////////  
////////// Fax 072-241-0670 //////////

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。

あけましておめでとう  
今年も宜しく  
お願いいたします。  
耳原総合病院  
院長 松本 久